

# 黄泉国(よみのくに)を訪ねて

## ― 近年発掘された「横穴式石室」の世界 ―

問い合わせ 生涯学習課文化財担当 ☎9066

### 古代東アジアにおける日本列島の石室古墳

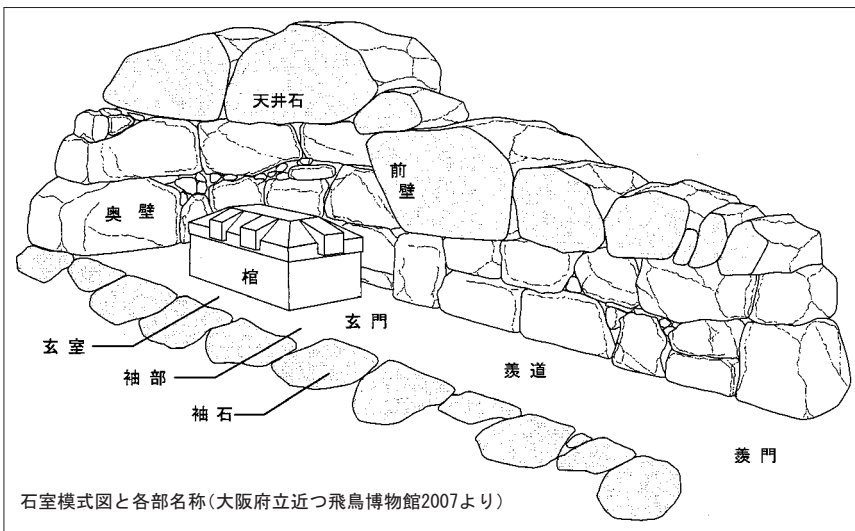
古墳の埋葬施設は、誕生の当初、大きな盛り土(墳丘)を形づくって、上の方から石室や棺を納めるものでした。しかし、古墳時代の後期(六〜七世紀)になると、出入りのできる入口をこしらえる「横穴式石室」を構築する古墳が数多く造られるようになります。それは古代東アジアの長い伝統をもつ葬法が大陸や朝鮮半島から伝播してきたからです。古代中国の古い墓は地下に地表からの墓道を築くもので、死後の世界は土中深くに眠るものでした。

わが国の横穴式石室は、こうした中国古来の墓の影響を受け、朝鮮で変容しつつ形の定まっていた横穴系

の墓制を引き継ぐもので、九州では四世紀後半に、近畿では五世紀段階に始まります。色んなタイプの横穴式石室が見られますが、芦屋では畿内一円に分布するものと併せて、他地域と同様、群集形態をとって爆発的に増加します。

横穴式石室の埋葬思想は、八世紀の『古事記』にも描写されており、イザナギノミコトとイザナミノミコトの男女神が登場する「黄泉国」の物語がみられます。発掘調査は、色んな埋葬儀礼を念頭に置きながら進められていますが、横穴式石室の一般

的な埋葬者は複数であり、家族的要素の強いものです。玄室と呼ばれる奥の部屋に遺体を葬り、通路にあたる「羨道」にも次第で埋葬を加えていく場合があります。先日、現地説明会の開催された旭塚古墳も巨石をもつ横穴式石室の一つですが、発掘調査の進展により、市内の横穴式石室構築の流れもはつきり見えてきたようです。



石室模式図と各部名称(大阪府立近つ飛鳥博物館2007より)

### 群集墳のなかの横穴式石室

多数の古墳が密集して分布する古墳群の一つの形態を「群集墳」と呼んでいます。市内では旭塚古墳群や城山古墳群、三条古墳群、笠ヶ塚古墳群、天神山古墳群など、いくつかの群集が知られています。その一つ、旭塚古墳群は、分布範囲や古墳数では阪神間でも屈指の大規模群集で、芦屋市六麓荘町・岩園町・朝日ヶ丘町から西宮市城・老松町・苦楽園四番町・五番町にまたがって分布しています。各々の古墳が立地する地形やまとまりから、さらに、朝日ヶ丘支群、岩ヶ平支群、剣谷支群、老松支群、苦楽園支群などのグループに細かく分けられています。現在は住宅街となっていますが、本来は、古墳時代後期から飛鳥時代(六世紀後半〜七世紀中葉)にかけて築造された百基以上の古墳から構成されていたものと考えられています。この古墳群の発掘調査は昭和二十一年に始

まり、これまでに数十基の横穴式石室が調査されました。石室の構造にはいくつかの類型が認められ、これは構築時期の差を表していると考えられています。同時期の古墳においては、規模や副葬品などに際立った格差は認められず、おおよそ等質的であることがこの古墳群の特徴としてあげられます。



群集する横穴式石室(岩ヶ平支群第56号墳)

その後、旭塚古墳群に於いてはその形成過程や石室の構造、造営単位、被葬者集団像など多角的視点から調査・研究が進むことにより、古墳時代の政治や社会の構造、古代家族の実態などが解明されていくこととしてい



地表に開口する横穴式石室(岩ヶ平支群第45号墳)

### 個性豊かな城山・三条古墳群

芦屋川の西方、六甲山地の山裾に広がりをもち城山古墳群や三条古墳群は、東方の八十塚古墳群とはかなり異なった様相を見せ、対照的な存在です。業平一号墳が築造された直後から群形成を開始し、飛鳥時代に続く白鳳文化の頃まで、墓づくりをずっと続けています。六世紀前半から七世紀の後半にかけて、実に百年以上にわたって、この山麓台地の上に墓域を構えたのです。

この頃の古墳は、八十塚古墳群同様、群がりを持ちますが、密集度は弱く、城山・鷹尾山の

豪壮な金銅装馬具や鉄鍬(アジリ)など武器類が含まれ、個々の古墳に年代差と構造上の格差も見られます。身分の高い首長層を埋葬した古墳が累代的に一基一基造られたようなあり方です。



古墳時代終末期段階に築造/城山第18号墳(7世紀後半)

### 旭塚古墳発掘をめぐる「ナンゾ」

このように八十塚古墳群とは異なった性格を担い、大和王権とも直接間接にからむ人々が葬られた古墳群といえるでしょう。おそらく、古代の摂津国菟原郡の範囲を統轄する郡領氏族の奥津城(臺場)だったと考えられます。

残っています。また、発掘された墳丘には貼石状の列石がみられ、多角形の墳形になる可能性が出てきました。従来、円墳や方墳と推定されていただけに、この点も問題です。八角形などは大王墓(天皇陵)や地方の豪族が採用した墳丘形態であり、旭塚古墳の被葬者の高い地位がわかるものであったか、また「ナンゾ」が提示されたからです。

最近、発掘調査の成果が報道された山芦屋町の旭塚古墳は、かつて昭和三十六年に京都大学の小林行雄氏が発掘して、旭化成寮内に長く保存されてきた大型横穴式石室です。今回の調査では、宅地造成計画が進んだため、再度確認調査を行い、新たなことが判明しました。その一つは、播磨産竜山石という石材が石室内や周辺からたくさん出土したことで、これについては十二月一日号の広報紙上で詳しく説明しています。グレードの高い家形石棺などに使用されたものなので、この点は貴重なデータとなりましたが、埋葬棺そのものが石室にはなかつた点がナンゾとして

旭塚古墳の最近の調査成果は、このように古代史とも関わるナンゾをさらに深めています。芦屋の古墳とくに横穴式石室の動きを知ることので、新しい地域像や歴史像を結びたいが期待されます。

市教育委員会では、道路開発や住宅地の造成、建築などに伴い、多くの市民の皆さんご協力を得て、芦屋の先人たちの活躍した証しを発掘調査により調べ、その成果などを展示や公民館の歴史講座、広報でげにしています。今号では、最近とくに出土の目立った「横穴式石室」をもつ古墳の数々を特集し、6〜7世紀の芦屋の古代社会について、わかりやすく紹介しました。市内の古墳を訪ねつつ、祖先の残してくれた文化遺産を考える機会になれば幸いです。

### 平野部で見つかった市内最古の横穴式石室



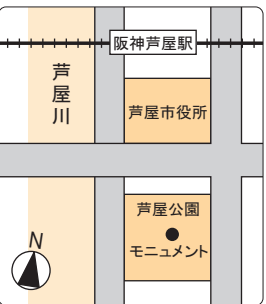
市内最古の横穴式石室(6世紀前半/業平1号墳)

山手線沿路整備事業に伴う、松ノ内町の業平遺跡(第六十一)地内の発掘調査において、横穴式石室が発見され、業平一号墳と名づけられました。それまで知られていた市内の横穴式石室は、すべて山麓部に分布していましたが、業平一号墳が平野部から見つかることは大変珍しいことです。さらに、この古墳は六世紀前半に築造されていることが明らかとなり、市内で最も古い横穴式石室であることがわかりました。この古墳は、中世の耕作地開発によって削られてしまっ

ていたので、墳丘を巡っていた周濠部と石室の下部しか残っていません。古墳の形は円墳で、直径は約10mで、埋葬施設である横穴式石室は、全長約三・四m、最大幅一・五mと推定されています。横穴式石室としては、小石材中心の古い形態や構築方法が認められます。石室内からは、木棺を打ち止める鉄釘が十数本と須臾の短頸垂一点・坏身一点が出土しました。なお、業平一号墳の周辺からは、一基の方墳の業平二号墳と二基の箱式石棺墓がみつかり、この地点付近に複数の古墳がまとまって存在したようです。業平一号墳の発見によって、平野部においても横穴式石室が地中深くに埋没していることが明らかとなり、芦屋地域に新しいタイプの埋葬施設がどのように導入されたのか、群集墳がいつから始まるのかを教えてください。

第四十五・四十六号墳の石室は、庭地の地中に埋没保存されています。第五十八号墳は発掘調査による記録保存がなされ、石室からは本古墳群で初めて水晶製切子玉・瑪瑙製の碧玉・碧玉製管玉が出土し、注目されました。

## 1.17 芦屋市祈りと誓い



阪神・淡路大震災から、来年1月17日で13年が経過します。震災の犠牲者を追悼するため、「1.17 芦屋市祈りと誓い」を次のとおり執り行います。  
■日時 平成20年1月17日(木)午前7時〜午後5時(雨天決行)  
■会場 「阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント」前(浜芦屋町「芦屋公園」内)  
■内容 記帳・献花 ※献花用の花は用意します。ご自由にご参加ください。  
■その他 供花や供物などは固く辞退しています。  
※駐輪場・駐車場はありません。

問い合わせ 秘書課 ☎38-2000

## 1.17 ひょうごメモリアルウォーク2008

平成20年1月17日、阪神・淡路大震災の経験と教訓をいつまでも忘れず、安全で安心な社会づくりに向けて歩むことを誓い合うため、ゴールのHAT神戸を目指したウォーク事業など多彩な行事を行います。※詳細は1月号で。  
■集合 川西運動場・午前8時30分(予定)  
■ゴール HAT神戸  
■内容 神戸東部新都心で「1.17のつどい」開催〜黙祷、安全の日宣言、献花など〜



問い合わせ ひょうご安全の日推進県民会議事務局(県企画課内) ☎078-360-6363(午前9時〜午後5時)/FAX078-360-6364(終日)

国会議員における女性の割合		
順位	国名	女性割合(%)
1	ルワンダ	48.8
2	スウェーデン	47.3
3	コスタリカ	38.6
4	フィンランド	38.0
5	ノルウェー	37.9
6	デンマーク	36.9
7	オランダ	36.7
8	キューバ・スペイン	36.0
10	アルゼンチン	35.0

※二院制の場合は下院の数字

問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023

### 女と男との参画メール

国会議員の女性比率 皆さん、国会議員に占める女性の割合が一番高い国はどこだと思いますか？  
答えはルワンダで、48・8%です。ルワンダという、一九九四年の内戦が記憶に新しい国にもいるかもしません。国民の十人に一人が命を落としたといわれる内戦終結後、残された女性が世帯主の三分の一を占め、また、従来は男性のみだった分野も女性が担うようになり女性の社会進出が進んでいったことです。  
また、ルワンダの憲法では、国の「指導的地位のうち少なくとも30%を女性が占める」と規定され、さらに法律で一定の人数枠が女性に割り当てられる「クオータ制」があります。この制度導入後初の選挙(二〇〇三年)で、女性議員の比率は飛躍的に伸びました。  
国会議員に占める女性の割合は、上位二十カ国のうち、アフリカ諸国が六カ国を占めています。ルワンダ以外では、南アフリカ共和国のアルバート・ヘイト体制の崩壊や、ウガンダでの一九六〇年代の国民抵抗運動への女性の参加など、新体制への移行期に女性が関わったことがきっかけとなり、女性の社会参画が広がっていった例があります。

ちなみに、日本は調査対象国百六十九カ国のうち百三十一位(9・4%)でした。

\*左表は「平成十九年版男女共同参画白書(内閣府より転載しました)。